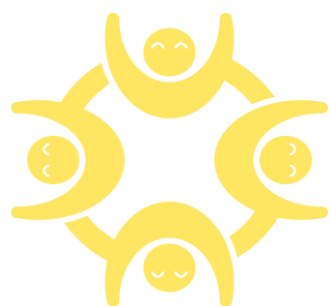


# 社会福祉法人かがやけ福祉会

## 2018年度事業報告 (平成30年度)

かがやけ福祉会 法人本部	頁
かがやけ共同作業所	頁
かがやけ第2共同作業所	頁
グループホーム	頁
相談支援センターかがやけ	頁



かがやけ

令和元年5月30日  
かがやけ福祉会

## 2018年度 法人本部事業報告

### 1 理事会の開催 年4回開催した。

第1回理事会 (通算113回) 2018年5月30日  
第1号議案 エタンセール運営規程の改正について  
第2号議案 経理規程の改正について  
第3号議案 2017年度 事業報告について  
第4号議案 2017年度 決算報告について  
第5号議案 監事監査について  
第6号議案 2018年度 第1回評議員会の開催について

第2回理事会 (通算114回) 2018年9月26日  
第1号議案 常用職員就業規則の改正について  
第2号議案 育児休業等の関する規則の改正について

第3回理事会 (通算115回) 2018年12月5日  
第1号議案 遺贈寄附積立金の取り崩しについて  
第2号議案 2018年度 一次補正予算について

第4回理事会 (通算116回) 2019年3月25日  
第1号議案 給与・退職金規程の改正について  
第2号議案 遺贈寄附積立金の取り崩しについて  
第3号議案 2018年度 処遇改善手当増額について  
第4号議案 2018年度 二次補正予算案について  
第5号議案 2019年度 事業計画案について  
第6号議案 2019年度 職員体制及び団体への派遣について  
第7号議案 2019年度 処遇改善手当について  
第8号議案 2019年度 当初予算案について

### II 評議員会の開催 年2回開催した。

第1回評議員会 (通算74回) 2018年6月22日  
第1号議案 2017年度 事業報告について  
第2号議案 2017年度 決算報告について

第2回評議員会 (通算75回) 2018年10月26日  
報告事項  
(1) 理事長の職務執行状況報告

- (2) 業務執行理事（常務理事）の職務執行状況報告
- (3) 第2回理事会決定事項の報告
  - ア 常用職員就業規則の改正
  - イ 育児休業等に関する規則の改正

### Ⅲ 運営協議会の開催

年2回開催した。

第1回運営協議会（通算3回） 2018年6月13日  
報告事項

- (1) 2017年度 事業報告及び決戦報告
- (2) 2018年度 事業計画及び予算
- (3) 各委員からの報告

第2回運営協議会（通算4回） 2018年12月12日  
報告事項

- (1) 法人本部の業務報告
- (2) 部門別業務報告
- (3) 各委員からの報告

### Ⅳ 借入金の償還

独立行政法人福祉医療機構への借入金を、以下のように償還した。  
かがやけ第2共同作業所建設借入金分として（2004年 5,250万円借入）

	元金(円)	利息(円)	合計(円)	償還期日
第26回次	2,620,000	146,720	2,766,720	2018.5.10
第27回次		125,760	125,760	2018.11.10
合計	2,620,000	272,480	2,892,480	

残高 15,760,000円  
最終償還日 2024年5月10日

### Ⅴ 事業の展開

- 1 第二種社会福祉事業障害福祉サービス事業の経営
  - ・生活介護 かがやけ共同作業所
  - ・就労継続支援B型 かがやけ第2共同作業所
  - ・相談支援事業 相談支援センターかがやけ
  - ・共同生活援助（介護サービス包括型事業所） かがやけ寮  
（ユニット：かがやけ寮、リベルテ、ラヴァンス）
  - ・共同生活援助（介護サービス包括型事業所） エタンセール  
（ユニット：エタンセール、アルクアンシェル）
- 2 公益事業
  - ・葛飾区より在宅心身障害者緊急一時保護事業の受託

## VI 今年度の事業報告

### 1. 経営・組織強化のために

#### (1) 理念の実現

今年度は、理念のハンドブックの活用を各事業所ごとに行い、かがやけの理念に向かい、職員一人ひとりが目標をたて、実践がおこなえるようにしてきた。

理念全体会は、3月22日、3月29日に開催した。

理念全体会では、グループに分かれ一人ひとりの目標に対する到達点、頑張ってきた点を発表し、みんなで確認・共有しながら、次への目標に向かって、歩いていく道筋をたてた。

職員ハンドブックの作成は取り組むことが出来なかった。

#### (2) 経営組織の確立と強化

理事会・評議員会の構成と機能が2017年度から変わり、2年目となった。

理事会・評議員会には、事前に議案資料を配布し論議が活発にできるように機能の充実に努めてきた。今後もかがやけらしい民主的な経営を行い、かがやけの歴史と理念の継承、発展をめざしていく。

拡大事務局会については、日程調整が難しく、開催することができなかった。今後役割を明確にし、会議の充実に図っていく。

法人事務局会、管理職会議を定期的で開催してきた。

法人事務局会では、法人の課題や事業所の課題について論議し、法人運営を進めてきた。

管理職会議では、副施設長の積極的参加を求め、副施設長を法人の様々な事業の責任者として位置づけし、事業運営の一部を担ってもらった。また、各事業所の介護報酬・補助金についての学習会を行ない、広い視野で経営・運営に主体的に参加していけるようにしてきた。更に、経営者としての資質向上のため、東京都福祉施設士会主催の福祉経営塾やきょうされん主催の経営管理者研修会に参加した。

#### (3) 5か年計画の推進

5か年計画にのっとり、その進捗状況を事務局会で確認してきたが、法人全体として、深い論議をしていくことができず、到達点や今後の進め方については、不十分のまま年度を終わることとなった。

#### (4) 財政計画

財政計画について、法人事務局会で論議し、各事業所の大規模修繕、新規施設整備について、数字を明らかにし、今後の財政計画の方針をたてることができた。

補助金の活用を積極的に行なった。

- ・車両の購入（葛飾区の補助金）
- ・工賃アップのコンサル（葛飾区の補助金）

施設整備積立金について、5千万円以上積み立て、目標を上回る積立をすることができ、今後の各事業所の修繕に備えることができた。

- (5) 危機管理体制・災害対策  
各事業所の防災マニュアルを、法人としてまとめあげる作業を行ってきた。
- (6) 虐待防止委員会の定例化と虐待防止研修の実施  
事業所ごとに虐待防止委員による研修会を行ない、支援の充実をめざした。日頃の支援を振り返る良い機会になったが、継続して行うことができなかった。
- (7) 内部監査の充実  
法人内での内部監査（5月、11月）を実施するとともに、監事による中間監査（12月）を実施し、業務内容を見直す機会を設けた。
- (8) 職員の働きやすい職場づくり  
今年度は、労働環境改善プロジェクトチームを立ちあげ2年目となり、引き続き、職員が安心して働き続ける職場めざし、職場の労働環境改善のための課題整理、課題解決のための方策を話し合う場を設定した。  
会議は6回開催し、各職場、労働組合の代表である委員が中心となり、職員へのアンケート実施、各事業所の実態・課題を委員で共有した。  
今年度については、残業、休憩時間をテーマに、各事業所で職場環境改善のための方策を委員が中心となり、職場で改善プランを検討し、実施した結果、会議の時間短縮や、記録等の実務の見直しなど、労働環境改善に繋がった。
- (9) 運営協議会、合同保護者役員会の充実  
運営協議会は、6月、12月の年2回会議を開催した。  
町会役員、民生委員、保護者、職員で構成し、民生委員会の方、町内会役員の方には、地域の取り組みについて話をさせていただき、防災訓練への参加や、共にできることを話し合い、地域との様々な連携の仕方や必要性について意見を交換した。  
合同保護者役員会を定期的に年6回開催し、法人の事業運営の報告や各事業所の保護者会役員との交流を図ってきた。  
今年度は、10月24日に葛飾通勤寮（社会福祉法人原町成年寮）の見学会をおこなった。
- (10) かがやけ福社会後援会との連携  
担当理事をきめ、後援会事務局会議に参加することで、連携を図ってきた。

## 2. 事業と実践の展開

- (1) 短期入所機能を備えた介護サービス包括型グループホームの新規創設の検討や賃貸物件の一部改修によるユニット増  
新設可能な土地及び賃貸物件の視察を積極的に行ったが、適切な物件を見出すことは出来なかった。
- (2) 利用者の高齢化、重度化に対応可能な日中活動の場の充実  
「高齢知的障害者への理解と支援のあり方」について、外部講師を招き、全体研修会を実施した。

(3) 新たな作業所作りの検討

医療との連携が必要な方や肢体不自由者の方を支援している施設を見学し、新たな作業所のイメージ作りを図った。

(4) 居宅介護事業所の開設を検討

具体的な検討をすることができなかった。

3. 人財の確保と育成

(1) 人財確保

法人全体で2名の正規職員募集を行い、4月に新規職員を1名採用した。その後12月に退職者が1名あり、公的機関や民間の求人媒体等に求人を掲載したが、年度途中での採用には結びつかなかった。人財確保の委員会を立ち上げる予定ではあったが、具体的な方針が掲げられず、実施はできなかった。

(2) 人財育成

①新人研修

- ・採用前研修の実施
- ・昨年に引き続き、チューターを配置
- ・法人研修担当者会主催の新規職員研修実施
- ・(株)ラーニングスクエアの協力のもと外部の研修システムを活用した研修の実施
- ・東京都社会福祉協議会主催の階層別研修を受講

②実践充実のための研修及び実践報告会の実施

- ・研修担当主催の外部講師による全体研修を2回開催

8月3日「障害者権利条約 意思決定支援を考える」

講師：東洋英和女学院大学人間科学研究科教授 石渡和実氏

1月18日「高齢知的障害者への理解と支援のあり方」

講師：独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみ園

ひのき寮生活支援員 四方田武瑠氏

- ・実践報告会

2月15日 相談支援事業の報告

就労支援事業の報告

③管理者研修への研修派遣

- ・東京都福祉施設士会主催の福祉経営塾の受講
- ・きょうされん主催の経営管理者研修会に参加

④専門研修への派遣

各事業所にてそのつど必要な研修に職員を派遣した。

4. 地域への取り組み

(1) 広報活動の充実

①ホームページの充実

必要に応じて適宜ホームページの更新を行い、内容の充実を図ってきた

②かがやけニュースの紙面の充実と定期的発行（年5回）

各施設のかがやけニュースの編集員により、編集会議を開催し、紙面の充実を図った。かがやけニュースを、5月・7月・9月・12月・3月の5回発行した。

(2) 地域における公益的な取り組みを検討、実施する。

7月24日かがやけ第2共同作業所の屋上を地域に開放し、葛飾区花火大会の観賞会を開催した。

(3) 地域との諸団体と連携を深め、ともに、地域の課題に取り組む  
諸団体と連携及び課題への取り組みについては、実施できなかった。

## 5. 行政への働きかけ

令和3年度から改定される、葛飾区障害者通所施設運営補助制度について、就労継続支援B型事業所への補助廃止に対する意見書を葛飾区へ提出した。新補助制度の利用者欠席補助については、経過措置として令和3年度から3年間は、就労継続支援B型事業所を補助対象とすることになった。

グループホームの都加算制度改定に対する要望書を、きょうされんや東京都社会福祉協議会と協力して提出した。また、かがやけ福社会としても、東京都福祉保健局障害者施策推進部部長宛てに7月31日付で、要望書を提出した。都加算制度の改定時期が10月から1月に延期された。

## 2018年度 かがやけ共同作業所事業報告

今年度は、4月に都立鹿本学園から1名の新入所者を受け入れ、年度当初利用者数は54名、6月にかがやけ第2共同作業所から1名が異動入所した。死亡と長期入院による退所者が各1名で、年度末利用者数は53名、年間平均利用率は90%であった。

利用者支援については、今年度も4つの基礎班ごとに、班集団、作業、生活、健康等についての目標を定めて、利用者の自主性や相互理解、協力関係を支援の重点において支援を行ってきた。生産活動（作業）では、収入増のため、情報誌「ぱど」の各戸配布やチラシ折りの作業を始め、年間平均工賃6,089円を支給、12月の賞与に加え3月に年度末手当を支給することができた。クッキー作業の効率化を図るため、コンベクションオーブンを購入した。

健康管理では、肥満傾向の利用者への個別指導の実施や、昼休みの体操などに取り組み、10kgの減量を達成した利用者がいたが、全体的には現状維持の方が多かった。感染症予防対策として、11月に所内にて希望者にインフルエンザ予防接種を実施、12月から3月まで所内と車内の消毒を実施した結果、インフルエンザ罹患者は4名、胃腸炎発症者は1名であった。

高齢化に対する支援では、職員全体で「高齢障害者の支援」について学習、介護保険サービスの利用を希望する利用者に対して、地域包括支援センターと連携を行い、補装具のレンタル利用や高齢者施設や在宅サービスの情報収集等の支援を行った。利用者送迎では、送迎希望者の増加に対応するためリフト付車両を増車、送迎コースを1コース増やして7コースとした。

施設運営管理については、サービス提供記録の記載を開始、利用者ケース記録の書式を個別支援計画の支援内容を確認しながら記入できる様式に変更した。災害対策では、葛飾区からの災害時用IP無線機を設置、「防災マニュアル」の作成に着手した。本田消防署の立入検査を受審、違反指摘事項はなかった。

地域交流においては、11月に「秋のなかままつり」を開催、今年度は近隣の専門学校や高等学校に幅広くボランティア募集を行った結果、60名を超えるボランティアの参加をいただいた。地元町会の「演芸大会」や「餅つき大会」に職員が参加し地域との交流を深めることができた。



## I 利用者状況 (2019年3月31日現在)

### 1. 事業種別 定員

- ・事業種別 生活介護事業
- ・定員 55名

### 2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	53	53	53	54	54	54
当月初	54	53	53	54	54	54
当月末	53	53	54	54	54	54
入所者	1	0	1	0	0	0
退所者	1	0	0	0	0	0
利用率(%)	90	89	93	92	88	90
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	54	54	53	53	53	53
当月初	54	54	53	53	53	53
当月末	54	53	53	53	53	53
入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	1	0	0	0	0
利用率(%)	90	88	89	87	87	92

- ・入所者 4月に都立鹿本学園から1名  
6月にかがやけ第2共同作業所から1名
- ・退所者 4月30日 死亡により退所  
11月30日 長期入院により退所
- ・年間平均利用率 90%

### 3. 男女別 男性29名 女性24名

### 4. 居住地別 葛飾区 49名 足立区 1名 三郷市1名 白井市 1名 松戸市 1名

### 5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均年齢
男	1	6	6	8	7	1	0	40歳
女	0	5	3	7	6	3	0	45歳
計	1	11	9	15	13	4	0	42歳
%	2	20	17	28	25	8	0	

### 6. 障害支援区分別

区分	人数
6	21
5	16
4	9
3	7
2	0
1	0
未判定	0
合計	53

※平均区分 4.9

7. 通所方法	送迎利用者	45名 (全6コース)
	家族送迎者	1名
	自主通所者	7名

## II 職員状況

### 1. 職員配置

1) 管理者	1名 (常勤1名)
2) サービス管理責任者	1名 (常勤1名)
3) 生活支援員	15名 (常勤12名、非常勤3名)
4) 看護職員	1名 (非常勤1名)
5) 栄養士	1名 (常勤1名)
6) 調理員	3名 (非常勤3名)
7) 事務員	2名 (常勤1名、非常勤1名)
8) 運転職員	2名 (非常勤2名)

※兼務表記省略 2019年3月31日現在

### 2. 職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	16	17	16	16	16	16
非常勤	11	10	10	10	10	10
計	27	27	26	26	26	26
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	16	16	16	16	16	16
非常勤	10	10	10	10	10	10
計	26	26	26	26	26	26

各月当初人数

## 2018年度 かがやけ第2共同作業所事業報告

今年度は54名でスタートし、年度途中で地域の在宅者1名入所があり一般就労者で1名退所などの変動で年度末には53名となってしまった。長期欠席の利用者も数名出ており、年間平均利用率は87.2%と昨年より1%弱、下がってしまった。

運営面では介護報酬と利用者の平均工賃が連動し、より高い平均工賃にすると介護報酬も上がるという仕組みになってしまい、今後の運営に不安をもたらすこととなった。

2019年度～2020年度に向けて平均工賃を上げ、授産収入の安定化を図るために、葛飾区の工賃向上推進事業補助金を受けコンサルタントの指導と助言を受けこの一年話し合い取り組んだ。利用者の今年度の平均工賃支給額は一人月20,905円と(前年度21,690円)なった。

調理班は昨年に引き続き学童弁当の評判が口コミで広がり増え夏、冬、春休みに2000食を越える弁当の受注となっている。また学童の顧客が中学校に上がり行事でお弁当を利用してもらえるようになった。

お菓子班は、6月に幅広い年齢層の方たちが利用できるよう喫茶店をリニューアルしたところ、利用客が増え昼食時間帯は満席となる日が多くなった。

公園清掃・トイレ清掃は、リーダーを中心として取り組んできた。しかし、その一方で体力的に厳しい利用者が徐々に見られ、外作業の従事できる利用者がここ数年減ってきている。受注作業については新たな受注会社も開拓した。しかし、受注品によっては部材が多種となり職員の整理等が困難になっている。重点項目については、①創作クラブ用に整理棚を購入し環境を整え、利用者の要望に合わせた創作を提供し充実化を図った。②利用者が自ら健康について関心を持てるよう、個々の健康診断をもとにしながら利用者全体学習会を開催した。③地域の幅広い年齢層の憩いの場となるよう喫茶店をリニューアルした。利用客が増えている。④自立生活についてより身近に感じてもらう為に他施設のグループホームの職員を講師に招き学習会を開いた。親から離れることへの不安や日頃感じている単純な疑問など質問が出され有意義な学習会になった。

I. 利用者状況 (2019年3月末現在)

1. 事業種別 定員

・事業種別 就労継続支援B型 ・定員 60名

2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	54	54	55	54	54	54
当月初	54	55	54	54	54	54
当月末	54	55	54	54	54	54
新入所者	0	1	0	0	0	0
退所者	0	1	0	0	0	0
利用率	89.4	90.8	88.8	87.7	85.8	84.8
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	54	54	54	53	53	53
当月初	54	54	53	53	53	53
当月末	54	54	53	53	53	53
新入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	1	0	0	0	0
利用率	86.4	91.2	85.8	83.6	89.8	88.5

年間平均利用率 87.2%

入所者：1名(在宅)

退所者：2名(第1作へ、一般就労)

3. 男女別 男性 35名 女 18名

4. 居住地別 葛飾区 53名

5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢
男	0	7	17	3	7	1	35名	38歳4ヶ月
女	0	6	4	7	0	1	18名	35歳10ヶ月
計	0	13	21	10	7	2	53名	37歳6ヶ月
%	0	24.6	39.6	18.9	13.2	3.7	100	

6. 障害支援区分別

区分	人数
6	0
5	0
4	13
3	17
2	3
1	0
未判定	20
合計	53

7. 通所方法 自主通所 53名

## II. 職員状況

### 1. 職員配置

- 1) 管理者 1名 (常勤1名)
- 2) サービス管理責任者 1名 (常勤1名)
- 3) 生活支援員 1名 (常勤1名)
- 4) 職業指導員 10名 (常勤5名・非常勤5名)
- 5) 目標工賃達成指導員 1名 (常勤1名)
- 6) 就労支援員 1名 (常勤1名職業指導員兼務)
- 7) 栄養士 1名 (常勤1名)
- 8) 調理員 2名 (常勤1名職業支援員兼務  
・非常勤1名)
- 9) 事務 1名 (常勤1名)

2019年3月31日現在

### 2. 職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
正職員	12	12	12	12	12	12
非常勤	7	7	7	7	7	7
計	19	19	19	19	19	19
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
正職員	12	12	12	11	11	11
非常勤	7	7	7	8	8	8
計	19	19	19	19	19	19

各月当初人員

## 2018年度 グループホーム事業報告概要

2018年度は、正規職員2名の募集をおこなっていたが、1名の採用にとどまった。そのため、不足分補充のため非常勤募集に力を入れ、支援の充実に努力してきた。ここ数年入居者の高齢化に伴い、通院の回数が増加。また、白内障による手術入院、転倒による骨折、けいれん発作による救急車での搬送などが増え、入居者の健康の維持や命を守るために、医療との連携が大きな課題となった。余暇活動については、グループホームごとの外出や全体の取り組みを季節ごとに行うことができ、生活にめりはりができ、充実した地域での生活を楽しむことが出来た。また、保護者との懇談会を開催し、グループホームの現状や支援の内容、保護者の願い、意見を交換し、今後のグループホームの運営の充実につなげることができた。

### 第1章 利用者状況

2019年3月31日現在

#### 1 定員と現員

(単位：人)

ケアホーム	ユニット	開設年月日	定員	現員		
				男性	女性	合計
かがやけ寮	かがやけ寮	H11. 12. 1	4	3	1	4
	リベルテ	H24. 4. 1	4	3	1	4
	ラヴァンス	H29. 6. 1	4	2	2	4
エタンセール	エタンセール	H14. 3. 1	7	4	3	7
	アルクアンシエル	H18. 5. 1	6	3	2	6

#### 2 入居者の状況 (年齢の状況)

ユニット	20代	30代	40代	50代	60代	合計
かがやけ寮			1	2	1	4
リベルテ		1	1	2		4
ラヴァンス		1	1	2		4
エタンセール			6	1		7
アルクアンシエル		1	5			6
合計		3	14	7	1	25

### 3 入居者の状況（障害者支援区分の状況）

ユニット	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
かがやけ寮			4				4
リベルテ				2	2		4
ラヴァンス			2	2			4
エタンセール				1	2	4	7
アルクアンシエル				1	3	2	6
合 計			6	6	7	6	25

平均区分 4.6

## 第2章 職員状況

### 職員配置

#### エタンセール

- (1) 管理者 1名（常勤）
- (2) サービス管理責任者 1名（常勤）
- (3) 世話人 5名（常勤）
- (4) 生活支援員 5名（常勤2、非常勤3）

#### かがやけ寮

- (1) 管理者 1名（常勤）
- (2) サービス管理責任者 1名（常勤）
- (3) 世話人 3名（常勤）
- (4) 生活支援員 4名（常勤2、非常勤2）

2019年3月31日現在

## 2018年度相談支援センターかがやけ事業報告

今年度は、かがやけ福祉会が運営している事業所の利用者及び例年に引き続き、地域において障害福祉サービス事業を利用している方へのサービス等利用計画の策定（サービス等利用計画179件の内、法人外83件・モニタリング124件の内、法人外64件）を進めてきた。

定期の利用計画の更新やモニタリング報告の他、家族の病気や介護力低下などによって、本人に新たなニーズが生じた場合には、必要に応じて計画案の内容変更を行ってきた。特に、今年度は、様々な事情により家庭での生活が難しくなり、家庭を離れた生活の場（グループホームや入所施設等）へ移行する必要がある利用者への支援ケースが多く見られた。

相談支援専門員としての専門知識の習得や支援技術向上のため、今年度も積極的に研修に参加をしてきた。

葛飾区主催（身体・知的相談支援部会・分科会—サロン）の研修への参加および、企画委員として1名、相談支援専門員研修の運営に携わってきた。

### ◎事業種別

指定特定相談支援事業

### 第1章 利用者状況

1. 各月サービス等利用計画・モニタリング策定数（ ）法人外在宅者等・内数

	サービス等 利用計画	モニタリン グ	小計 (件)		サービス等 利用計画	モニタリン グ	小計 (件)
4月	11(4)	4(1)	15(5)	10月	14(3)	13(7)	27(10)
5月	14(6)	7(6)	21(12)	11月	8(5)	13(3)	21(8)
6月	20(5)	5(5)	25(10)	12月	13(7)	13(6)	26(13)
7月	11(3)	3(3)	14(6)	1月	9(5)	14(6)	23(11)
8月	15(6)	5(4)	20(10)	2月	20(12)	17(6)	37(18)
9月	13(4)	16(12)	29(16)	3月	31(23)	14(5)	45(28)
小計	84(28)	40(31)	124(59)	小計	95(55)	84(33)	179(88)
				合計	179(83)	124(64)	303(147)



## 第2章 職員状況

### 1. 職員配置

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1) 管理者     | 1名（相談支援専門員兼務） |
| 2) 相談支援専門員 | 1名            |